

調査研究助成

2005 年度

[12件]

- (1) 日本植民地期台湾におけるハンセン病政策 ②
(芹澤 良子)
- (2) 記録・記憶から歴史へ
－ 20世紀・ウランバートルの歴史的復元と分析 －
(松嶋 愛)
- (3) ミクロネシアにおける言語消滅の研究
－ パラオの日本語を中心に － ①
(松本 和子)
- (4) ソロ地方出身者による出稼ぎ
－ その歴史と形態とメンタリティー ①
(間瀬 朋子)
- (5) 八重山諸島における台湾系移民の生活世界の形成と
その地域社会への影響 ②
(金戸 幸子)
- (6) インドネシアにおける日本人の技術移転と
現地企業の能力構築 ②
(Padang Wicaksono)
- (7) オランダ植民地期アチェにおける政治社会運動 ②
(西 芳実)
- (8) 植民地期のインド軍 － インド化とナショナリズム
(川津 千佳)
- (9) 近・現代インドにおける企業組織の発展と工業化 ①
(野村 親義)
- (10) 「満州国」林業遺産の主体的再利用
(永井 リサ)
- (11) 戦争、市民、ネイション
－ オーストラリア社会における太平洋戦争の体験と公的記憶の位相 － ②
(鎌田 真弓)
- (12) アジアにおけるサトウキビ栽培の伝播と文化変容
(三田 千代子)